

西京区に住む人、働く人、訪れる人の小さな愛読書

<https://www.facebook.com/nishikyojikan/>

vol.04
秋号

2018
TAKE FREE
無料

nishikyo-jikan

西京じかん



いま、このまちで過ごす“じかん”
いままで、このまちを育てきた“じかん”
これから、みんなでつくっていく“じかん”

西京じかん

2018年秋号
<TAKE FREE>
●発行日 2018年9月15日 ●発行所 西京じかん編集部 ●発行責任者 林佳代子
●〒615-8285 京都市西京区山田御道路第3-3-37 ●e-mail nishikyojikan@gmail.com
FAX 075-920-4597 本誌記事の無断転載を固く禁じます。掲載した情報は取柄保持物です。



阪急洛西口駅高架下
今秋 GRAND OPEN



taut-rakusaiguchi.com





団地のおとなりの境谷公園へ。
お母さんと一緒に遊びに来ていた楠 ひなたちゃん(7)と朝陽くん(2)。
「公園にお弁当を持って遊びに行くことが多いので、草花の見頃などリアルタイムな公園情報があったら嬉しいな」とお母さん。確かに！



今日は「春の統一ふれあいクリーンデー」だそうで、草抜きや清掃活動をしている人々が。前田 見太郎くん(10)はお父さんの稔さん(59)と参加。普段から丹波町の古民家で農業のお手伝いをしていて、自然が大好きな小学5年生です。「ここは、壁から草を抜くのが楽しい!!」



さらに西へ向かって、西境谷南児童公園に到着。砂場。ラクダとイルカの組み合わせが不思議な世界を作り上げております。ラクダには誰かがマジックで描いたようなこの線。かなり好きです、このセンス。今回も、素敵なお人々、いいモノに出会えた旅でした。

楠さんに「もっと上に行ったら少年野球をやっていますよ」と教えていただいて、グラウンドへ。



ただいま
部員募集中です！



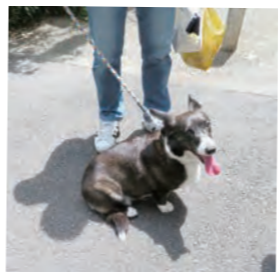
この境谷グラウンドをホームにしている「洛西サンボーイ」の東野 竜二監督。境谷、竹の里、大原野の小学生たちのチームで、来年なんと40周年を迎えます!!



第一村とかけ発見。



お散歩中のモコちゃん(2)。チワワとトイプードルのミックス犬「チワプー」の女の子です。



こちらは、ウェルシュコーギーカーディガンのロールちゃん(7)



青空、白い雲に緑が映えて、広々とした美しい団地です。子どもたちがボール遊びで走り回っていました。



シックな滑り台を発見。おとなりの『右京じかん』では、「弓矢の旅」が始まったそうな。しかも、ちゃんとした道場で訓練まで！『西京じかん』も負けてはおられませぬ。こうやってどこでも鍛錬を積むのであります。



西京区の日常に会いたくて、ダー！いや吹き矢の刺さった場所に出かける「吹き矢の旅」
手製の吹き矢、今回刺さったのはここです！

まずは吹き矢が刺さった場所へ。UR洛西境谷東団地の中です。ゆーあーるであーる♪

大原野東境谷町



西京吹き矢の旅

四



受付をしていたのは、デザインの専門学校と同級生2人。左：大滝 真琴さん、右：岡本 菜摘さん「入社2年目で仕事楽しい!!」



突然の忍者訪問に余裕の笑顔のハルちゃん(7)

右：ハルちゃんの妹 アサちゃん(4)

大原野・はるひのプロジェクト

「大原野・はるひのプロジェクト」地域の文化や歴史・風土に合わせたデザインを考えた。そんな想いから、地元6つの工務店が集まり始めたプロジェクトです。



ヴィオラとは、21世紀生まれの新しい弦楽器。大正琴が基になっていて、ピック、弓、スティック等を使用して様々な音色を奏でることができるのだそう。

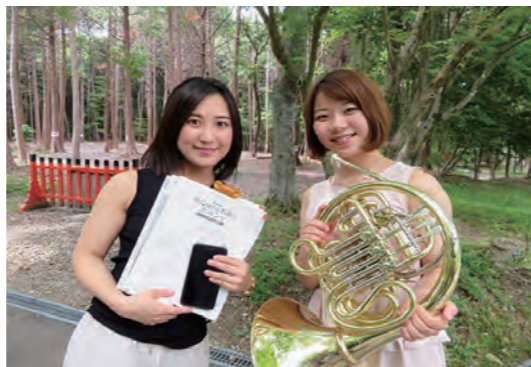


ヴィオリアンサンブルあじさい
左から隠岐 伸子さん(69)、迎垣 伸子(むかえがきしんこ)さん(53)、綿本 悦子さん(69)、中山 陸美さん(55)。

みなさま、すてきな笑顔、ありがとうございました～



横尾 真由美さん(45)、笑麻(えま)ちゃん(8)
笑麻ちゃん、『西京じかん』を知ってくれました!!嬉しい!!「サッカー大好き。昨日は試合で選手宣誓をしたよ」



Duo primavera.いとこ同士のDuo
左から齋藤 遥佳さん(26)、ピアノ。江口 倭世(いよ)さん(20)
江口さんは現役の京芸大2回生で、去年の12月から大原野神社内のお蕎麦屋さんでアルバイト中。そのご縁で今日の出演となりました。



ジャズアンサンブル「ソレイユ」のみなさん 左から貴志さん(ギター)、朝美さん(ピアノ)、伊藤 誠さん(ボーカル)、YUCCOさん(ボーカル)

5/27

にしやまの音楽会



「音楽が始まると森の中の鳥も一緒に鳴いてくれる」と『にしやまの音楽会』スタッフ 脳坂 円三(えんそう)さん(76)



もとは、2008年、京都市立芸術大学を中心とした「大枝アートプロジェクト」の発表の場として始められたコンサート。今は芸大生に限らずバラエティ豊かなジャンルの音楽家たちの応募出演によって、毎年4、5、9、10月の第4日曜日に開催されています。



琴、大正琴、文化琴を教える石田先生と生徒さんたち
左から 南里 年美(なんりとしみ)さん(76)「大阪から来てます」、石田 佐和子さん(77)「長岡京市で30年教えています」、片山 茂子さん(80)、南城 文子さん(76)、長野 栄子さん(75)「北区からきました♪」

まちかど 笑顔図鑑

西京区のみなさんの笑顔、笑顔、笑顔、笑顔に出会う笑顔図鑑。今回は、大原野神社 杜のステージで年4回開催されている『にしやまの音楽会』にお邪魔しました。緑美しい樹々、鳥のさえずり、みずみずしい空気、そして奏でられる音楽…自然と笑顔がこぼれますよね♪

西京すてぎ発見



小刀1本で生み出す精緻の極み。

京友禅の職人技を活かし、「型紙彫刻」の
アートな世界を作り上げた伝統工芸士

和田禪翠昭さん(79)

「ほんまに人の手で彫ったのか…」

左ページの作品をまずご覧ください。渋紙と言われる一枚の紙を、手製の小刀1本で彫った「型紙彫刻」の『希望』。制作期間は約2カ月。なめらかで繊細なラインは幅1ミリ以下のところもあり、見る人を驚かせます。熟練の技と情熱でこの見事な大作をつくりあげたのが、榎原に工房を構える和田禪翠昭さんと和田則昭さんです。



▲「草花でも人でも、その構造を理解して、考えて彫らないとあかん。花びらの重なり方、葉っぱの向きや体の造りを考えると、小刀の流れも自ずと変わってくる」

着物の型だけではあかん

和田さんは、1940年、兵庫県宍粟市生まれ。中学卒業後の1955年から京友禅の宮尾藤次郎氏に入門し、70年代にピークを迎える着物業界

で染型職人として京都の伝統産業を支え続けました。

93年に独立。その後、着物の染型に限界を感じた和田さんは、友禅体験に染型彫刻も組み合わせた独自のワークショップを始めました。大きな組織ではなく、一人の型彫職人として友禅体験を営む人が非常に少なく、ノウハウなど「試行錯誤の連続だった」と和田さん。創意工夫、持ち前のユーモアとサービスピース精神も相まって、修学旅行の団体やインターネットで見たという国内外からの体験希望者が増えていきました。

創作意欲は尽きず

また型自体を「見せる」芸術的な制作活動に取り組みます。題材は、京友禅で培われた草花柄や鳥獣、浮世絵、城や町家などの建築物、昔話やフランスのアールヌーヴォーまで!!

そして、その型紙を使った行灯やブックカバー制作など活動の幅を広げていきました。「ある日、京都の資料館の柱に巻く装飾用の型を依頼されて。型の可能性に気づいたのはそ

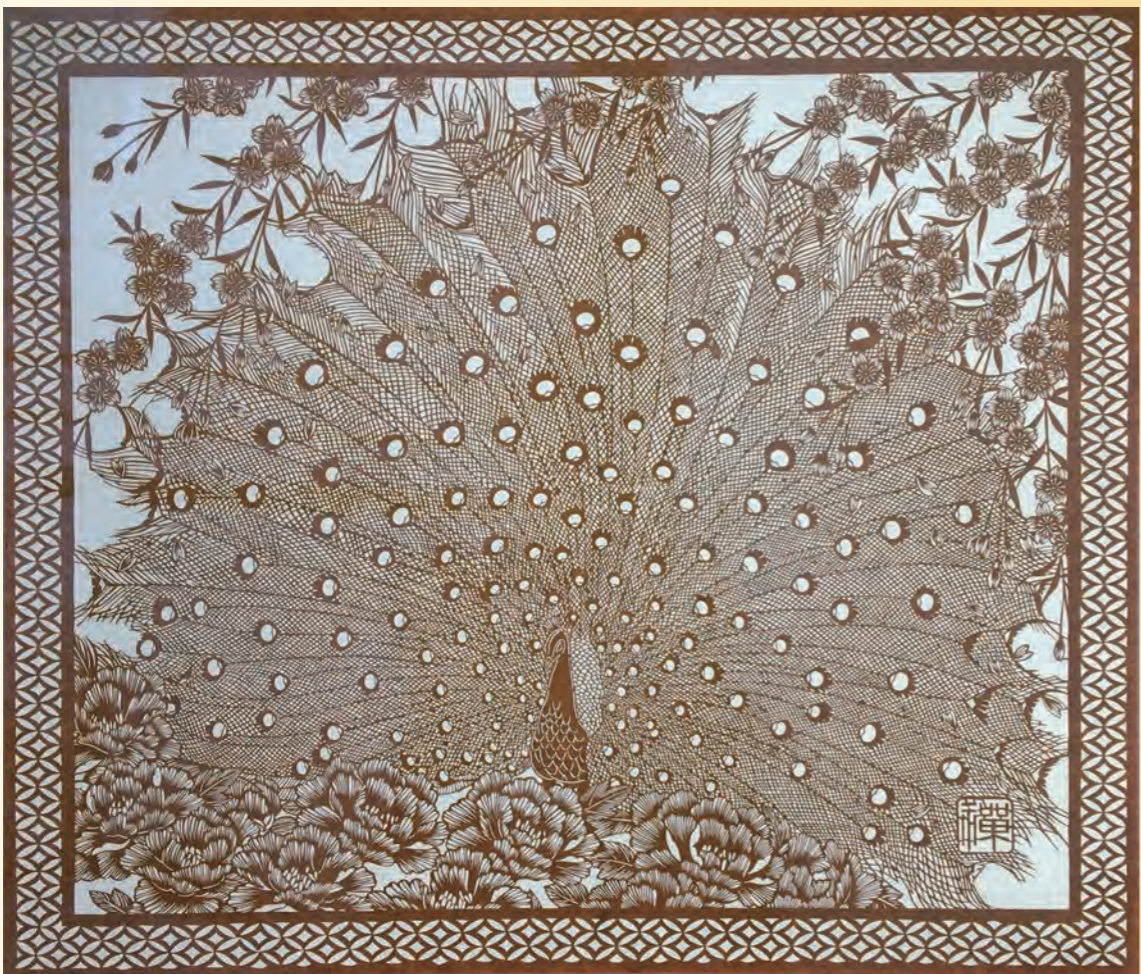
の時やな。型というの丸く巻くことができる。また同じ柄を繰り返して描くことができる。いろんな使い道がありそうやと」

職人としての確かな腕とあくなき好奇心が、廃れゆく技術に新たな光を与えたのです。2003年には経済産業省が認定する「伝統工芸士」となり、15年、瑞宝単光章を受章しました。

「型紙1枚でどこまで表現できるか、いかに見る人に感動を与えられるかが大切。そして、彫っている様を見ていただければ、実演にこだわりたい。こう言う職人たちが京都に、日本にいるというのを伝えていくのも自分の役目かと思っています」。



▲弟子の百田 茉耶さん(29歳)「師匠の常識にとらわれない生き方が最高にかっこいい。人生も含めて勉強させていただいてます」



型紙彫刻 『希望』 2018年8月 和田禪翠昭 作

平成30年度 京の名工展に出品。10月24日(水)〜28日(日) 会場 京都文化博物館
「せし足を運んで実物を見てください」。

このまちの景色を守り、歴史をつなぐ人たちがいます

西京たからもの図鑑

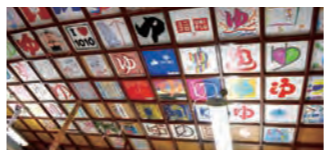
古き良き銭湯文化がなくなり、地域交流でまちを元気に！



昔ながらの銭湯の場にハイセンスな遊び心を

阪急桂駅から徒歩約5分。桂の町の一角にある、レトロな雰囲気の建物と暖簾が目印の「桂湯」は、西京区で唯一の銭湯だ。桂湯が開業したのは昭和4年。もうすぐ90周年を迎える老舗だ。「石川県で農家をやってきた親父が風呂屋をやりたいと、今の桂湯を買い取ったのが始まりです」。2代目として桂湯を受け継いだ現在の店主、村谷純一さん(71)に話を伺った。

脱衣所の天井には、カラフルで個性的な「ゆ」の文字がずらりと並ぶ。アーチ状の天井は、格闘「ゆ」天井」という造りになっており、89年間手を加えていない貴重なものだ。この格天井の格闘「ゆ」天井がアートパネルになっており、多くはお客さんが描いてくれたオリジナル作品が飾られている。お寺などの格天井では、格闘



上「ゆ」の天井画 下 オリジナル時計の数々



▲手作り店舗ロコ ▲昭和レトロな脱衣所

に仏画を貼ると知り、ここでも何かできないかと考案したものを。お風呂に入ったときの気持ちを表現してもらっています」

店内の装飾の多くは村谷さんのお手製。どれも見る人が楽しめるような遊び心に溢れている。脱衣所の壁には不思議なデザインの時計が所狭しと並ぶ。全て村谷さんの作品だ。「なんでも時計にできるので、色んなアイデアを試したくなります(笑)」

村谷さんはかつて、波乱の時代を過ごした。学生運動への参加で大学を退学となり、専門学校で建築を学んだ後、様々な下積みを経て、ロゴや看板を手がけるデザイナーとして長年働いた。「アイデアが切れないようにしたい。やり残したことがないよう、常にゼロから考えるようにしています」

桂湯は、昔ながらの銭湯の存続と活性化のために有志により結成された「西京銭湯部隊」も活躍している。夏休みには「わくわく桂湯」、10月にはハロウィンパーティーといったイベントも開催。まちの社交場として、銭湯の良さを伝える機会を作っている。「イベント後に親子で来てくれたり、友達同士で訪れる子供たちがいると、なんともほえましい。みんなでお風呂で温まることが、今の子供たちにとっては新鮮で貴重な経験になる」

モーターや設備は時代と共に変えてきたが、桂湯の多くの様式は当時のままだ。お風呂の癒しと、つながりの場として、また新しい歴史が刻まれる。

西京たからもの景色

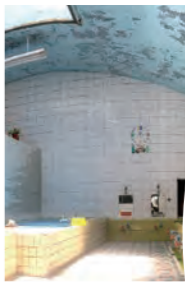
桂湯

桂湯

京都市西京区桂木ノ下町21-2
075-381-4344
定休日:月・金
営業時間:
午後3:30~10:30
入浴料:大人430円・中人150円・小人無料



絵と文 阿部 夏希



▲開放感あふれる浴場



西京区唯一の銭湯「桂湯」を守る 村谷 純一さん(71)

西京めし



西京区の食材を使ったお料理、西京区の人々が作った美味しいものを「西京めし」と勝手に名付け、紹介するこの企画。第3回目は、「おくとさん」で炊いたほっかほっかのご飯で作ったおむすびです。

きっかけは

4月1日、西京区役所の事業「西京結び」の参加者が企画・運営する初のイベント「お結びカフェ」が開催されました。場所は、この西山の地に400年以上も続く旧家山口家の御屋敷。「吾香居(たいこうきよ)」の名で限定公開されています。



▲フーフー吹く！酸素を強制的に入れて空気を入れ替え、火力をあげる。

ここに1年間参加してきた、「西京お弁当プロジエクト」の女性たちが、食へ物関係を担当。おくとさんと炊いたご飯をおむすびにしました。



嶋崎 康恵さん

菊地 由加里さん

安東 幾代さん

山口 一美さん

ねえ、と冗談言っただんです(笑)

冗談かういつの間にか

写真の4人に川崎 公子さんを加えた5人のメンバー。榎原小学校PTAの元役員で、子ども同士も友達だった縁で、仲良しになりました。「区民体育祭で、役員は毎年お弁当を出すんですが、幕の内と助六合わせて700食、このお店を探すのがほんまに大変なんです。これやつたら自分らで作れたらいいよ



▲紫蘇とじゃこと大葉



▲旬の豆ごはん

「西京結び」とは？ 参加者の一人ひとりの「得意なこと」や「思い」、「夢」を持ち寄り結び行動にまで進めようという区の事業なのです。



▲昭和55年に漬けた梅干し！吾香居の庭にある梅の木から採れたもの。



▲おくとさんでお米を炊く。お焦げのような香ばしい匂いがしてくる、開けずがまん。



お組み合わせで作る主婦のま！

話。しかし、それを耳にした嶋崎さんの夫が「西京結び」に携わっていたことから、せひにと誘われ参加。「真剣に何かやってる人も多くて、私たちは場違いな感じ。いったいこれからどうなるの!?!」



▲おこげを使って即席で。



▲色とりも綺麗なおつゆ



▲わいわい楽しく動くメンバーのみなさん

なさんが、いいね、いいねと後押ししてくださいって。なんだかできるかも？という気がしてきました。

味噌油は大原野・城戸平左衛門商店の



京白だし味噌油。

そしてイベントは大成功。「今回自分たち以外の人に食べてもらうという経験をし

て、自信につながったかな」。次はおかずも作ってお弁当に近づきたい、地元の旬も生かして、と話は尽きません。カタチになるのはまだまだ先かもしれないけれど、『おむすびを誰かに食べてもらう』ことで、夢の続きが見えてきたことに間違いはありません。

「でも、ワークシヨップで、これまでオープンにすることがなかった夢を口にすると、周りの参加者のみ



▲大原野の春の味菜の花のおひたし



▲オーガニックnicoの畑の菜の花を使って。花と太くて硬い茎を切り落とし、柔らかい茎と、つぼみ部分を使います。



▲おひたしで使った菜の花を飾って。

おむすびの巻



さく・え 咲良&芽依

2018秋
OPEN!

まっすぐ伸びる高架下で生まれる、
人と人をつなぐ新しい魅力♪

TauT

今年秋に先行オープン予定している
歩いて楽しい高架下「TauT 阪急洛西口」。
気になる出店情報や地元の話題をお届けします！



TauT 速報★
焙煎したての豆を使用した本格珈琲を一杯ずつ丁寧に抽出。ラテアートを描画も間近で見て楽しめます！

**洛西口駅「TauT」
ってどんな場所？**

「TauT(トート) 阪急洛西口」とは、阪急京都線・洛西口駅付近における、総延長約1kmもの高架下エリアのこと。行きたい街・

住みたい街としての魅力を高め、「訪りたい」、「新たに住みたい」、「将来にわたって住み続けたい」エリアを目指して開発が進んでおり、2020年の全体開業を予定しています。



計画中(2020年全体開業予定)

2018秋、先行オープン!

阪急洛西口駅

阪急桂駅

今回オープンするのは地域の魅力を再発見するエリア。地元企業や人気店舗による出店が並びます。
オープン後は様々なイベント開催も新しくなった高架下エリア、楽しみですね♪

地元速報★

大原野では、様々な農産物が買える「マルシェ大原野」が毎月第1・第3土曜日、毎週火曜日に開催中♪



TauT 阪急洛西口

京都市西京区川島六ノ坪町ほか
阪急洛西口駅高架下
<https://www.taut-rakusaiguchi.com/>

西京じかん取材ツアー 参加者大募集!

TauT 阪急洛西口案内板
ディースポットに迫る!

先着順
20名

2018.11/18(日) 10時~15時
(予定)

今回のメイン
スポットは... 梶原三ノ宮神社の天井画!

京都の絵描きユニット「だるま商店」。古典的な図案だけでなく、ハリウッド映画とのコラボなど幅広い活動をする彼らが描いた絵が、梶原の神社の中にひっそりあることをご存知でしょうか? 普段は窓枠ごしにのぞき見るしかできないだるま商店さんによる天井画を、特別に拝観を開放していただきます。宮司さんによる解説もあり、見どころ満載です!

お申込み・お問い合わせ
nishikyo.jikan@gmail.com

参加費未定

詳細は編集部webサイトで
お知らせします!

★参加者にはTauTオリジナル
記念品をプレゼント!



当日は梶原周辺スポットも散策!

●ツアー案内人
第1号「この人にきく
西京のまち」で登場した
鈴木千鶴さん(梶原町
家灯籠会)



●TauTからつながる
大原野

大原野では、様々な農産物が買える「マルシェ大原野」が毎月第1・第3土曜日、毎週火曜日に開催中♪



▲ハーブ園の風景

「阪急洛西口駅を玄関口に、もっと多くの人が大原野に足を運んで、農業のことも知っていただけたら嬉しいですね」と期待を語るのは、大原野の女性園芸家・石原麻美子さん。
「私たちの仕事は、理想を目指して、1年単位で改良を繰り返す。しかも京都の過酷な自然環境の影響を受けながら。しんどいけれど、努力の結果をお客さまに評価していただいた時のやりがいには格別です。大原野の他の農家さんと同じ気持ちではないかな」と、大変なお仕事のことにもこころ話す石原さん。京都では作るのが難しいと言われる、ハーブ



▲ハーブ園の風景

とシクラメンにあえて個人で挑戦する、パワフルな女性なのです。ホテルスタッフからハーブの総合施設に転職し、植物栽培の面白さを知った石原さん。彼女の本気を認めた地元の人たちの紹介で、大原野に土地を借り、ハーブ約200種類などを全国に出荷しています。

大原野には、石原さんのような挑戦者魂を持つ農家さんが数多く存在し、京都産のたくましい農作物を育てています。直売所「マルシェ大原野」や秋の柿街道、フジバカマ畑、「風土・food大原野」をはじめとするお祭りなど、農業や自然と触れ合えるスポット、イベントがいっぱい。隠れた地元の魅力を見つけ、足をのびしてみませんか?



IS BOTANICA
(アイエスボタニカ)

石原麻美子さん

少し足をのびれば、さらに
見つかる地元の魅力

ラテアート ジャンキーズ ロースティングショップ
●TauTで出会う Lattart Junkies Roastingshop

本物のコーヒーの美味しさを提供したい。日本を代表するバリスタであり、ラテアート世界大会ベスト8進出経験者である大西剛さんが焙煎からラテアートの演出までプロデュースする専門店「ラテアートジャンキーズロースティングショップ」の3号店がTauTのオープンで誕生。
洛西の地で19年ほどコーヒー専門店に勤めた大西さん。自分の追い求める理想の味は自分で提供するしかない、3年前に本店をオープンされた。日本をよく出るコーヒーの多くは苦味が強い。深煎りですが、大西さんは深煎りはせず、豆の鮮度にこだわり、抽出に使う水の管理



▲ラテアートワークショップも予定あり!

「ここに来れば本物が飲める」という発信になれば、より多くの人に来てもらえるのが楽しみです。

阪急洛西口店は、パークハウス・メールさんと併設となり、美味しいパンと一緒にコーヒーを楽しめます。

世界レベルのラテアートが
気軽に楽しめる専門店



パリスタ
大西剛さん

も徹底。苦味が特徴と思われがちなエスプレッソが、飲みづらさのない美味しい酸味のある仕上がり。コーヒーは果実の種子。本来の酸味や甘みはもっと楽しめる「エスプレッソの香りをふわふわのミルクでとじ込め、白鳥のラテアートがあっという間に完成。

今、そしてこれから

西京このひとに

ききたい!

著書『雑貨店おやつへようこそ
小さなお店のつくり方つづけ方』から1年。
今のキーワードは「言葉」



「雑貨店おやつ」店主
トノイケ ミキさん(47)

桂駅東口の住宅街にある「雑貨店おやつ」。6坪ほどの小さな店内には、トノイケさんいわく「かわいいなあ」「面白いやん」では事足りぬ、「めっちゃかわいいやん!!」「何これ!?!」と感嘆符やはてながいっばいつく物たちがぎゅーと詰め込まれています。



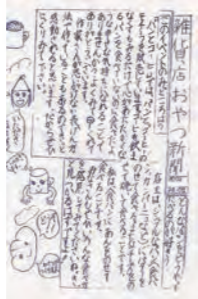
出産を機に立ち上げたネットショップ、そして2011年からの桂の実店舗、その10年間を綴った著書『雑貨店おやつへようこそ』。小さなお店のつくり方つづけ方(西日本出版社)出版から約1年すぎ、トノイケさんのお話をききたい!とお店に伺いました。

目標を果たして今…

「いろんな層の方から、本の感想をいただいたり、本を見てお店に来てくださる方もおられて。出版当時、メディアで取り上げていただいたこともあり、この間のゴールデンウィーク、この間のゴールデンウィーク、パンとか、もしかしたら同じ物かもしれないけど、打ち出し方、伝え方で、同じものでも変化していくんです。自分自身、安易な言葉を使うのではなく、もっと吟味して、丁寧に発信していきたい。」

言葉といえ、トノイケさんのブログやSNSでは、お子さんの言葉から大切なことを気づかされるエピソードがよく書かれています。

「まさにこの1年は特に子どもとの関わりの中から、言葉の大切さを今まで以上に感じることにになりました。同じこと



▲お子さんが発行する『雑貨店おやつ新聞』お客さんも楽しみにしているそう。

を伝えるにも、ちょっとした言い回し、声かけ一つで、子どものやる気やエネルギーをそいだし、与えたりすることがある。とても傷ついたり、逆に人を好きになったり。そんなことを実感した1年でした。それが自分の仕事ともリンクしています。」

「声かけのことは研究室室長」という肩書きも持つトノイケさん。「ひとり研究室です(笑)。来年から営業時間を短くさせていただいて、午前中にそういう声かけ、言葉に関する講座、場を作っていきたいなと思っています。」

クには、放送から数カ月も経っているのに『来よう来よう』と

思っていて、やっと来れた」という方が多かったですね」とトノイケさん。

大阪で営んでいた雑貨店について書いた前著『カナリヤ手帖』の小さな雑貨屋さんのつくり方」以来、その続きの本を出すことが10年

来の目標だったそうです。10年もかかってしまったけど、店主として集大成ができて、ようやく次のステップにいけるなあという、ホッとした部分があります。

じゃあ今後はどうやっていこうか、ようやく考えられるフラットな状態、今はそういう時期ですね。来年からはもっと新しいことをや



▲▼西京区の作家も
ママやお店の品



▲言葉をキーワードにした企画の第一弾は、アートイベント「私から出たかたち、あなたから出た言葉」。作家がかたちを出し、見た人や自分自身からどんな言葉が出てくるだろうという試みでした。

急がないけれど重要なこと

「急がないけれど重要なこと」は今の自分にとって何なのか。実はこれが自分の人生や店の将来をかえていく。

本の中にある一文です。今のトノイケさんにとっては、それは何なのでしょうが、

「私にとって『急がないけれど重要なこと』は、ずっと仕事を続けるために健康であること。それから、本を作っている文章を書くことは誰からも頼まれていないわけではなく、大切でもない。自分が大事に思っている時間を作っていることです。」

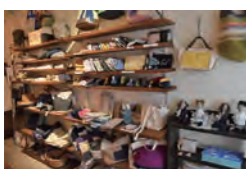
書きたい本とは?

「一つは声かけに関すること。声かけのことは研究室」として、系統だててまとめられたら、自分の教科書的なものになるかなと思っています。

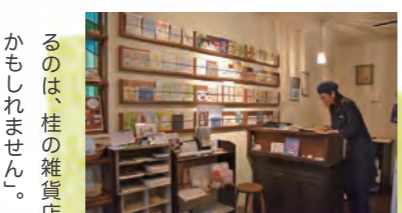
もう一つは、子どもとの関わりの中、人間にとって大切なことを気づかせてもらったエピソードがいくつかあります。それを平たい言葉で、小さな子どもでもわかるように書きたいんです。」

桂という町で

「この場所に住みながら、子どもがいる私が行っているお店。前の店は大阪のビジネス



公式サイト→ <http://www.o-ya-tsu.com/>
ワークショップや作家を呼んでのトークイベントなどぜひ参加してみてください。
「こんなことやってほしい」という企画もいつでも募集中!!



生になつて。子どもが離れたらお母さんがまた来たり。そんな変化が見られるのは、桂の雑貨店ならではの、

毎回かわるお店の特集やディスプレイ、足を運ぶのが楽しみにあります。「お客さんにわくわくしてほしいし、私自身もわくわくを共有したい。楽しいことを企画したり長く続けるためには、体力や時間に余裕が必要だなと感じます。私がおばあさんになった時、どうなっているかな。溜まり場になっっているかも。可愛いものが好きなおばあちゃんたちの(笑)」。

次のステップ、気づいた言葉の大切さ

「本を書いて、過去を振り返って、私はこれからどういうお店、どういいう仕事をやっていこうか考えた時に、あ、やはり私は言葉っていうものをすごく大切にしているんだなとわかったんです。それで、これからは言葉というものをキーワードに、自分が得意とする雑貨と組み合わせたり、アートイベントをしたり。あと、文字や本。それらをクローズアップしていけるようなお店づくりにしていこうかなと。売っている物は洋服とかか

大募集

西京じかん

の記事になりそうな



西京のステキ、不思議、不気味...ずっと気になっている謎のスポット、ヒト、物体を調べてほしいなど編集部におまかせください！西京区の食材で作った料理「西京めし」を紹介して下さる方も絶賛募集中です。ご応募・お問い合わせの際は、お名前、ご住所、ご連絡先のメールアドレス、電話番号を明記ください。※採用・不採用ともに情報資料、写真などの返却はできません。

応援一口につき、オリジナルロゴ入りかばんをプレゼント。「西京じかん」が50冊入ります！



西京じかん応援特典

情報提供や西京わらしべなどの各応募、広告の申し込み等、すべてのお問合せは「西京じかん」編集部まで！

〒615-8265 京都市西京区山田御道路町 3-37
FAX 075-320-2597 メール nishikyo.jikan@gmail.com

西京じかん 応援団 大募集

次号がでるかほみなさま次第!?「西京じかん」の応援団を募集しています。
【個人応援団】年会費 3,000円/一口 【企業・団体応援団】年会費 10,000円/一口

広告大募集

企業・店舗のPRや教室のご案内等、「西京じかん」に掲載しませんか。
サイズはご希望・ご予算に応じて調整いたします。1行広告も募集しています。

にしきょうわらしべ 応募方法

交換対象品の説明と画像(物はまだ送らないでください)、お名前、ご連絡先を編集部まで送ってください。(メール、郵送どちらでも可)ご応募くださった方の中から編集部が交換対象品を選び、ご連絡いたします。フェイスブック (<https://facebook.com/nishikyojikan/>) からも応募できます。

【表紙について】「西京たからもの図鑑」で紹介した老舗銭湯、桂湯さんの前で。常連さんで、ちょうどお風呂あがりです。さっぱりとした表情のあいちゃん(7)、倅造くん(3)。桂湯店主の村谷純一さん(71)と一緒にパチリ。



詳しい内容はフェイスブックで ↓

運営 NPO法人みのりのもり劇場
主催 西京区役所地域力推進室 総務・防災担当



西京びと

『西京じかん』第3号に関わってくれたごきょう
一部のみなさまのすてきな笑顔をいただきました。
これからもよろしくお願ひします。〜



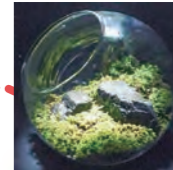
にしきょうわらしべ

みんなが知ってる「わらしべ長者」現実の世界でやってみたら…?

西京じかんで「わらしべ長者」をやってみたら、どんなモノに交換されていくのでしょうか？前回応募いただいた『まちやカフェ チャーミーちゃっと』の「まちやまちランチ デザートセット券」は、さてさて何に交換されたのでしょうか???

スタート!

ナニナルカナ? ナニナルカナ?.....



可愛がってください〜

応募締切

2018年
12月28日(金)
必着

応募方法・応募先は左の大募集のページをご覧ください。

わらしべ人 株式会社亀山造園
亀山 雄飛さん(48)

西京区で造園業を営んで27年。苔リウム作りのワークショップは大人から子どもまで楽しむことができ、地元のマルシェなどでも出展しています。

今回「にしきょうわらしべ」として交換いただいたお品は、『苔リウム』。松尾にある株式会社亀山造園は、東京の大手ホテルの造園を任されるなどの実績を持ちますが、その職人技の粋を集めた渾身の作品なのです。そおとのぞいてみてください。まあい瓶の中に、いつまでもいつまでも見ていたくなる癒しの世界が広がっています。こちらの『苔リウム』を、ご自身の何かと交換したい!!という方は、ぜひご応募ください。

応募資格・ルール

わらしべには応募資格があります。ズバリ「西京区にゆかりのある方」です!例えば、西京区に住んでいる、西京区の職場、学校、施設に通っている。西京区出身。好きな人が西京区にいる。西京区に行く心があどる。とにかく西京区が好き!ということが条件です。



娘夫婦と暮らす家



★二世帯住宅★お孫さんと過ごせる繋がりウッドデッキ、家庭菜園つき
 ★京都市西京区大原野上羽町147番6号地★敷地約58坪★延床約43.83坪★2LDK+2LDK★「宇ノ山」バス停徒歩8分★普通車2台、軽自動車2台駐車可能★平成30年5月完成★引渡/即時★木造2階建 ★都市計画/市街化調整区域

販売価格 **4,780万円**

お気軽にお問い合わせください。いつでもご案内いたします

西山の風土に調和した家づくり

株式会社小野建築設計

〒610-1123 京都市西京区大原野上里南ノ町10番地

TEL . 075-335-2254



www.ono-k.com

会社HPでイベント情報を更新中!

団地でのんびり暮らし 【境谷西第一住宅27棟】

販売価格 **1,880万円**

★フルリノベーションで新築同様

★京都市西京区大原野西境谷町3丁目★敷地約76.82㎡(23.23坪)★給水管給湯器交換済★3LDK★「境谷センター前」バス停徒歩2分★昭和55年12月築★管理費7,500円★積立金9,500円★引渡/即時



ふたつでひとつ

「まさ君は、おじいちゃんとDVDを観ています」
残業中に入った母からのショートメッセージ

居間で父とTVを観ている様子がすぐに目に浮かんだ
息子はすっかりおじいちゃん子に育っている

家に着くと隣のドアから笑い声が漏れていた

2階の洗濯物を集め、お風呂のスイッチを入れてから、
隣のチャイムを鳴らす

元気がいっぱい息子が飛び出してきた
母と父も半分ほっとした表情で顔をだした
「おかず。足しにしなさい」

渡されたホーローの器はまだ熱かった
庭で一緒に育てたピーマンを使ったそうだ

そろそろ夫も駅から自転車を漕いでいる時間だろう
これからは我が家の時間

隣の家の明かりは2階に移った

まだしばらくは両親に頼る生活になりそう

今号の
「西京吹き矢の旅」
 まわったのは境谷学区
大原野東境谷町
周辺!



西京探索マップ

西京区って意外と広い? 自然あふれる西山は隠れた名所がたくさん。

